



飛 翔

5号



「自分の生き方を考える」充実した夏休みを！

72日間の1学期が終了しました。過ぎてしまえばあっという間でしたが、本校の生徒は、各自の夢や目標に向かって、一生懸命勉強や運動に取り組んでくれました。今年度、機会あるごとに生徒に向けて、「やれでやるよりやるでやる」を伝えています。なぜ、この言葉を伝えているかという、学習にしても、運動にしても、活動する意味や価値をきちんと理解し、人ごとではなく、自分ごととして捉えて、挑戦してほしいという思いがあるからです。

今まさに、子どもたちを取り巻く社会状況の劇的な変化に対応できる「生きる力」が求められています。だからこそ、人に言われて行動を起こすのではなく、自分できちんと何をすべきかを考えて、自分で決めて、最後まであきらめずやりきる行動力を身に付ける。そうすれば、変わりゆく社会変化に柔軟に対応できる力を発揮できると考えています。

明日から、いよいよ夏季休業日です。今年度の夏季休業日は7月20日（土）から9月1日（日）までの44日間となります。1学期の終業式では、「この44日間をどのように過ごしたらよいか」「自分の生き方を見つめてほしい」という内容についてお話ししました。具体的には、「2030年問題」つまり、今の中学生が社会人になる6年後には、日本の人口は2004年をピークに、人口が減少し、3人に1人が65歳以上の高齢者になること、資源や食料危機リスク、自然災害リスク、AI（人工知能）やロボットなどのテクノロジーの進化に伴う職業の変容といったことが社会問題になることを伝え、この状況は決して他人事ではないことを考えてもらいました。

夏季休業中は、このような状況をきちんと理解し、これからの社会がどのようなのかをじっくり考える良い機会となります。その中で、「自分の生き方を考える活動」に積極的に挑戦してほしいことをお願いしました。まずは、今、中学生としてやるべき勉強や運動にしっかり向き合って取り組むこと。それだけでなく、SDGs活動やボランティア活動、家のお手伝いなど、人のためになる活動に挑戦すること。この2つについては、きちんと自分で考えて行動し、自分自身の成長につなげてほしいと願っています。

2学期には、「お弁当の日」を計画しています。自分でレシピを考え、食材を自分で調達し、自分でお弁当を作って、学校に持参する日を1日設定します。詳細については、2学期にお知らせいたしますが、夏季休業中、自分で調理をする機会をもち、時には、家族に振る舞うなど、お弁当を自分で作る練習をしておいてもらえると嬉しいです。

保護者の皆様には、学校の様々な取組に対し、ご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。引き続き、生徒たちが大きく成長できるよう、ご家庭と連携していきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

充実した1学期の様子



校内少年の主張大会



東京校外学習



伊勢崎高校ようこそ先輩